



勝山

卒業するまでに、逆上がり、二重跳び50回以上、漢字は毎回100点とれる子に

Tel:0867-44-3141 Fax:0867-44-3142 Mail:katsuyama_es@sch.city.maniwa.okayama.jp

小学校で大切なこと
学校が好き
学び方がわかる
人とうまく関われる
コロナに勝つ!!

忘れられない夏休みを地域の中で...



変身!!



子どもたちが楽しみにしている夏休みが始まります。夏休みは、普段できない体験ができる大きなチャンスです。同時に、せっかくできた良い習慣が崩れてしまうこともあります。生活習慣を崩さないように規則正しく充実した日々を過ごせませうようご協力をよろしくお願いいたします。8月24日(月)の登校日、27日(木)の始業式に元気な姿で会いましょう。

1学期 勝山大賞

担任の先生と相談し、がんばる姿が学年や全校の模範となる人を1学期勝山大賞としました。1年 岩田果子さん：勝山大賞や勝小第2号の新聞投書がとびぬけてすばらしい。2年 原田咲希さん：逆上がりの練習意欲がすごい。あなたは大変な努力家。3年 岩田正太郎くん：勝山大賞、新聞投書、積極的学習態度が3年生の模範。4年 上田満ちるさん：努力する姿は全校の手本。あなたは努力の天才。4年 中村咲里さん：自転車に一人で乗れたね。あなたの頑張りは本当にすごい!! 5年 岩元晴花さん：向上心を忘れず努力、友達にも優しい人柄がすばらしい。6年 福本太一くん：勝小No1の勇氣、勝小第1号の新聞投書、あなたの積極的な取組と勇氣は全校の手本。6年 黒木絢菜さん：雨に日に、バスに乗る下級生にカサをさすなど優しさ抜群!! 素直スペシャル大賞：6年生香川竜慶くん、あなたは本当に素直で、アドバイスをすぐに生かすことができます。伸びしろ無限大!

わかった できた をめざして...

7月2日(木)。初めて逆上がりができた子4人。手には血豆、カット絆をはって練習し、すばらしい努力の手本を示してくれました。2学期も「わかった」「できた」の感動を味わう子が一人でも多く生まれることを願いつつ学校経営を続けます。ついに、逆上がり率50%超!!

おはようございます。校長先生の口ぐせ「学んだ証は変わる事」「学んだ証はより良く変わる事」。みなさんは1学期の学校生活でより良く変われましたか。これから「変身!! 夏休み」という話をします。「通知表」「勝山大賞」「変身!!」の3つです。まず、通知表。みなさんの4月から今までの様子を担任の先生が見て、良いところやどこをがんばればもっと良くなるかをまとめています。少しだけ紹介します。低学年：「どの教科にもやる気満々で取り組みます」。素晴らしい。「準備をさとし、背筋をピンと伸ばし、良い姿勢で学習に取り組みます。」高学年：「雨の日に下級生がバスに乗車する際、カサをさす姿を見て感心しました。」すばらしいねえ。こんな通知表を見ると、うれしくなります。担任の先生はここまで見ています。よく読んで、これからの勉強や生活の参考にしましょう。次に、通知表や担任の先生の話をもとに、一学期のがんばりを1学期勝山大賞として紹介します。※省略(右上の吹き出しを参照)さて、いよいよ夏休み。必ず、変身しましょう。変身とは、今の自分を超越することです。「ラジオ体操を毎日する」「運動会の応援団長になるための秘密の特訓をする」「お手伝いをいっぱいする」など、校長先生のお勧めは、「夏休み勝山大賞」です。ぜひ挑戦しましょう。三重跳びが10回以上できたら必ず表彰します。今の自分を超越、できなかったことができる、あっと驚くような取組のある「変身する夏休み」にしましょう。8月27日の2学期始業式に、変身したみなさんとお会いのを楽しみにしています。これで校長先生の話が終わります。(終業式式辞要約)

大ウナギ

教師人生延長戦のチャンスをいただいた私の役割の一つは、「伝える」こと。今までに出会った様々な人や出来事を不定期ながら掲載します。あの時の経験、あの人にかけてもらった言葉。拙い文ですがおつき合いを…。小4の僕の夏…大ウナギ…。

夏休みは、ラジオ体操と川遊びが日課だった。来る日も来る日も当たり前のようにラジオ体操をし、川遊びに興じた。半世紀経った今もけっして忘れられない小4の夏。ヨウちゃん、クニちゃん、ケイクんと捕った重さ4kgの大ウナギのこと。■大ウナギは旦土川にある通称「おいで」の用水路にいた。水がほとんどなくなり川に逃げ出す心配はないものの、太く重く、力は強烈。おまけにウナギ特有のあのぬめり。4人とも何とか自分のものにしようと思死だったが、にぎっても、にぎっても、するりと逃げられる。ケイクんは、頭だけ半ズボンに押し込みウナギに抱きついた。しかし、見事に股間から逃げ出されてしまった。「あそこ、かまれなかったか。」みんなで大笑いした。20分くらいの格闘の末、僕はするどい歯のある口に右手の親指を突っ込み、暴れるウナギを左手の網に押し込んだ。親指からは血が流れ、泣きそうになったが我慢した。「捕ったぞ！」僕は、そのままかけだし家に向かった。ヨウちゃんもクニちゃんもケイクんもついてきた。4人とも泥だらけ。大ウナギの口に入れた指からはまだ血が流れていたが、なぜか痛くなかった。おいでから内藤、三二商店を通り、保育園の園庭から田んぼを抜け我が家にたどり着いた。気がつくと、網は半分にさけていた。すぐにおばあちゃんが出てきてくれた。「まあ、なんならこりゃあ。ウナギじゃが。」「おいでで、僕が捕ったんじゃ。」「こりゃあ、おいでの主じゃな。」「おいでの主？」みんなで顔を見合わせた。「おいでに何年もおったんじゃ。おばあちゃんもこんなのは見たことがねえ。」そう言いながら、おばあちゃんは、計りと出刃包丁、特大のまな板を出した。重さは4kg。おじいちゃんが、5寸釘と金づちでウナギをまな板へ打ち付けた。大きすぎて、まな板からはみ出た。新聞紙で押さえ、30cmの物差しで測ると、4回でやっと測れた。1m20cm。4人で格闘したのでおばあちゃんは、1kgずつに切り分けてくれた。夕ごはんは、ウナギのかば焼きだったのは言うまでもない。■夏休みが来るたびに思い出す大ウナギ。思い出すと、今でも鼻の奥がツンとする。時代は移り、環境も変わった。特に今年はコロナ第二波が心配されるが、子どもたちにとって、一生に1度の夏休みが巡ってくることに変わりはない。親や地域の温かい眼差しに見守られ、それぞれの大ウナギを見つける夏休みであってほしいと切に願う。



ラジオ体操

を毎朝する・・・子ども会、町内会など地域によって主催者は違うかもしれませんが1日でも多く取り組んでください。お盆を過ぎた8月後半のラジオ体操が特に大切です。9月の運動会の準備運動はラジオ体操です。地域をあげての取組を期待しています。計画がなくても声をかけ合って始めましょう。朝一のラジオ体操が地域で活発になりますように。

夏休み勝山大賞 (校長先生からの宿題)

ラジオ体操、お手伝い、自主学习、教科書音読10回等、ものすごい取組や他を寄せつけないほど充実した夏休みの過ごし方をした人の中から「夏休み勝山大賞」を選びます。挑戦したい人は13日に配布された夏休み勝山大賞挑戦券に夏休みの成果をまとめ、8月27～31日に担任の先生に提出しよう。さあ、夏休みをきっかけに、運命を、人生を変える。今すぐ夏休み勝山大賞挑戦券に記入し、充実した夏休みを過ごそう。ちなみに、縄跳びで三重跳びを10回以上できるようになった人は、必ず表彰し児童朝礼で発表してもらいます。

- <例> ●三重跳び10回 ●二重跳び50回 ●新聞投書
 ●40日間毎日ラジオ体操をした ●「校歌」熱唱
 ●歴史人物58人をすべて覚えた ●教科書1冊音読10回
 ●47都道府県の位置がわかりすべて漢字で書ける
 ●家族の弁当を10回作った ●毎日、朝6時に起き、夜9時までに寝た その他、驚くようなすごい取組を待ってるよ！

さあ、「夏休み勝山大賞」は誰の手に？



7月6日(月)の児童朝礼でMVPを獲得した二人。手に血豆を作りながら毎日逆上がり練習を頑張っている4年生上田満ちるさん。登校時、下級生の世話を優しくしていた6年生中西悠にくん。心が1億円??